



第16号 2008年5月30日発行



市民のみなさんと共に育ちあう 大和市民活動センターです

表紙絵：ノース・アイランド2号(大和市職員)

6月の第 回連続共育セミナーは 防災ゲームで学ぶ リスク・コミュニケーション
6月27日(金) 18:00~21:00

第11回の共育セミナーは
リスク・コミュニケーションについて学びます。

日時:6月27日(金)18:00~21:00
場所:大和市民活動センター 会議室
ゲスト:船越英一さん(大和市職員)

リスク・コミュニケーションは、単なるコミュニケーション技術を指すのではなく、リスク問題について社会全体として、共に考えていこうということです。

防災の分野において、住民の主体的な関与が求められながらも、まだその関心は情報提供に重きがおかれている印象があります。

セミナーでご紹介する「クロスロード」はゲームを通して、参加するプレイヤー(市民)が、創造的かつ主体的に考え、行動できるように支援します。「クロスロード」は災害対応を自らの問題として考え、様々な意見や価値観を参加者同士共有することを目的としています。

さあ、みなさん、楽しみながら学びましょう！

今年度の大和市民活動センターは『拠点やまと』が運営しています。

「SUNNY- SIDE MORNING」から「朝ラジ ホットモーニング」に(番組名変更)

既に24の市民活動団体が出演しました

それぞれの活動を熱く語っているのを聴いてください。

毎週火曜日の朝 9:05 にスイッチ ON!

第21回 4/29(火)

～災害時の減災を目指して～

<やまと災害ボランティアネットワーク>

「阪神大震災」の被害を見て、危機感を持った人々が集まり、結成されたグループ。お隣近所の顔の見える関係の中で少しでも被害を減らす減災(げんさい)を目指し、毎年市の小、中学校の体育館で「災害体験フェア」宿泊体験を行っています。「災害弱者といわれる方々にきめ細かく接するには」とか、「いざと言う時、自助・共助がどこまで出来るのか」など課題はまだあるので、一人でも多くの方に「災害体験フェア」に参加していただき一緒に考えてほしいと語りました。

問い合わせ:046-272-0103(平原)

第22回 5/6(火)

<かながわ「非行」と向き合う親たちの会>

通称=道草の会。

「非行」に走った子どもは「自分を大切にし、今を生きることの喜びを感じ、自立に向かって成長できる」(「会」の目的でもある)そんな人間関係、「居場所」が実はほしかったんだと、そして「会」の月イチ例会に参加して、私たち親も「居場所」を求めていたことがわかったと語る。何でも本音で話せる例会は毎月第4土曜日。

問い合わせ:

TEL:045-961-6696(樋口)

090-8313-235(上田)

HPは「神奈川 非行」で検索

<お知らせ>

「第7回「非行」を考える親たちのつどい」

6/22(日)13:15~

川崎総合自治会館(武蔵小杉駅下車)



アロハ～

あなたのジョニーです。

皆さん、FMやまとが5月12日から新編成になったのをご存知ですか？

平日の帯番組は、全て新しくなりました。

もちろん、朝の番組も、

『朝ラジ ホットモーニング』

(7:00～10:00)となりました。

大和市民活動センターだよりは

毎週火曜日9時5分からOn Air中!

聴いてくださいね。

*番組表は市民活動センターに置いてあります。

大和市民活動センター【ある日ある時】～1～

センターには、いろいろな人、情報が集まってきます。ここから繋がる活動あり、広がっていく活動ありです。イキイキとした活動の「あんなこと」「こんなこと」をお伝えできれば、と思っています。

5月8日(木)

「あの手の手」第15号で紹介した絵本作家の手塚カズさんからFAXが届きました。

F M
やまと

77.7
MHz

「やまとっこ

みつけた」

毎週
(火)

9:05

1

9:25

a.m

第23回 5/13(火)

～ほっとして元気になれる広場～

<ポラーノの広場>

「そこへ夜行って歌えば また そこで風を吸えばもう元気がついて」この宮沢賢治の詩から、その名前と精神をそっくり拝借して、23年前4人で始まりました。赤ちゃんからお年寄りまで、誰もが自由にやって来て、語らい学び、支えあいそんな広がりのある人の輪が欲しくて、子供文庫を開設しお話やゲーム、紙芝居いろんな遊びが盛り沢山。会員などの制度もなく、「自由」が最大の制約みたいなもの、それぞれの思いを勝手に提案し、企画し、人集めをして、やってしまうのだから、どんな突飛なイベントが生まれても誰もびくりにしない。

ポラーノの広場への思いはそれぞれみんな違っているけれど、お互い意識しないうちに何かを与え合い育て合っている。と淡々と語ってくれました。

問い合わせ:046-276-7207(山本)

第24回 5/20(火)

～お帰りなさい ハグロトンボ～

<引地川ハグロトンボ調査隊>

宅地化が進んで、川に家庭排水が流れ込むようになって、30年前に絶滅してしまったハグロトンボ。自然にやさしい河川改修と、市民の清掃活動の結果、10年くらい前に引地川に帰ってきたのです。以前、泉の森の動植物調査をしてハグロトンボの絶滅を記録した方から電話をいただきました。私たちの活動に感動して下さって、昔、ご自身が作って紛失してしまった「泉の森カルタ」をもう一度描きなおして復活させた、というエピソードを語ってくれました。

今は大人が中心になってハグロトンボの調査をしていますが、川や生き物が大好きな子供たちのジュニア調査隊ができればいいな、と思っています、と今後の活動の広がりに期待を込めて話されました。

問い合わせ:090-2527-8438(飯塚)

<お知らせ>

6/1(日)10:00～12:00 ヤゴの調査

集合場所 9:30 桜ヶ丘駅西口

10:00 引地川 御嶽橋

7/5(土)、8/2(土)ハグロトンボの調査



手塚さんからのFAX

「あの手の手」には身近な情報がいっぱいです。紙面からは、あたたかさが伝わってきます。「ボランティアグループみらい」の方々には、敬意をもって読ませていただきました。この広報紙が長く継続されることを願っております。

いただいた「あの手の手」は知人に配りたいと思います。

「拠点やまと」の関係者みなさまのご健康とご活躍お祈りいたします。

センターに 来て・みて・ご覧

今回からスタートしたこのコーナーは
大和市民活動センターにあるものを
シリーズでご紹介します。シリーズ1

「拠点やまと文庫」をご存知ですか。

蔵書冊数 120冊

書名の検索がHPからできます。

<http://park23.wakwak.com/youkoso/book1.html>

現在備えている図書は

「助成金応募ガイド2007」 「イラストコレクション」

「基礎からわかるNPO会計」 「ぼくすごい」

「協働のためのサプリメント」 「どろんこ天使」

「協働と市民活動の実務」 「ぶながやの森」

「あしたへつづく道」など

* 次回は印刷機の利用について...

大和市民活動センター【ある日ある時】～2～

5月16日(金)メール投稿がありました

最近受け取ったメールにこんなものがありました。
このメールの発信者は、会社社長をしている小職
の友人からのメールの一コマです。

その友人が、最近の読書の感想と本の内容を紹介
したものです。図書名は、「酵素が切れる怖さ
をご存知だろうか」(ある病院の医院長の著書)。
その社長は、自分の読書結果を従業員に社内用
の新聞に掲載する記事をおくってくれたのです。

この内容も興味のもてる記事ですが、それより

<ただいま到着 新着図書>

どろんこ保育

著者 塩川寿平

出版社 フレーベル館

学校開放で まち育て～サスティナブルタウンをめざして～

著者 岸 裕司 学校と地域の融合教育研究会副会長

秋津コミュニティ顧問

出版社 学芸出版社

<紹介を兼ねて>

「学校開放で まち育て～サスティナブルタウンをめざして～」

この本の「はじめに」のところにこう書いてある。

義務教育、とりわけどこにでもある公立の小学校が本来的に持つ「学ぶ」
機能と「施設」の機能を校区の住民と協働・共有できるように改革し、同時に
今は薄れつつある地縁とも血縁とも一味違う子どもを介した地域の大人同士
をつなぐ考え方の「子縁(こえん)」を活かしたまち育てを推進することにより、
今、ニッポンが直面するさまざまな課題、例えば少子高齢化によるまちの衰
退、核家族による子育て子育て不安、開かれた学校を目指す一方で学校の
やまちの安全問題などを緩和ないし解決しうのではないかと考える。

読むと、大和市の小学校を子どもと大人のためにもっともっと開放したくなる本です。



表紙

自分が得た情報・知識をより多くの人に
紹介するシステム(リカレント教育)作りを
しようとしている社長の姿勢です。(社内
人材育成)昨今、迷惑メールが横行する
社会で、この様な、メールを受け取れ幸
せとその友人には、今後も送信して欲し
い旨を依頼したのです。

情報社会の中で、生きた情報、知的な
情報(情報はインテリジェンスである)を
交換しあえる仲間がより多くいることへの
幸せを痛感している今日です。(松村襄)

エスニック・ねっと(発行:財)大和市民国際 化協会)第2号トップ面で紹介された南 米・ペルー料理店コラソン・ラティノを訪 ねました。

大和駅から徒歩5分、藤沢街道の大和駅入口の交
差点、フォルクスやマクドナルドがある一角に店は
ある。6卓のテーブル、ペルーゆかりの壁掛けや民
芸品が小ぎれいに飾られ、TVでペルーディスコ音
楽映像が雰囲気を作る。礼儀正しく、しっかり者の
奥さんマリアさんが迎えてくれる。日本語が上手く
馴染みやすく食事も楽しいいただける。マリアさんは
日本に来て18年経つ、嫁いで新潟・十日町に7年
暮らし農業に励む(母国の経験が役立つ)。大和市
に来たのは4年前、南米食品・雑貨店を開店。昨年
12月、コラソン・ラティノ(意味はラテンの心)を併
設しご主人やお子さん達と過ごす。まさに家庭的な
レストラン。市内にはペルーの人は1,200人強居
られるが、その友人知人はもちろん、料理がおいし
いと噂を聞いた日本人同志がリピーターになって
来店する。食材はペルー原産(隣が自ら経営する
物産店)のものと日本のものを調理して、おいしい
家庭料理になっている。

<メニューの一部>

- ・カウカウ(ペルー風ハチノスのカレー)
- ・チチャモラダ(紫とうもろこしのジュース)
- ・パパ・ア・ラ・ワンカイナ(ジャガイモのチーズソースかけ)

おいしく食べて国際交流 ～その7～ ペルーのココロを感じてきました



大和市大和南1-13-17
046-262-6565

11:30～22:00
火曜日休み
駐車場あり



<ペルーはこんな国>

面積は日本の約3倍で人口は2割。首都はリマ。南アメリカ西部に位置し、アンデス山脈、アマゾン上流の平原が広がる。インカ文明、クスコやマチュ・ピチュ遺跡、ナスカの地上絵、チチカカ湖などが有名。都市部はスペイン系白人が多く、インディオが全人口の半分。日系人も少なくない。主産業は農業でアンチョビなどの魚類の生産物も多い。鉱業も盛ん。宗教は大部分がカトリック。言語はスペイン語とケチュア語が公用語。(平凡社:世界大地図帳より一部引用)(M.A.)

<ひとことスペイン語>

オラ!(こんにちは)
リコ(おいしい)
グラシアス(ありがとう)
セルヴェッサ(ビール)
ポルファボール
(お願いします)
「ウナ セルヴェッサ
ポルファボール」
(ビール1本お願いします)

<市役所にある母子像をご存知ですか？>

お母さんと楽しげに手をつなぐ子どもが、大空へ飛び立つのではないかと思うモニュメントが市役所正面玄関の左手にありました。これは1998年2月1日に大和市民平和都市宣言を記念して建てられたもので「母と子の夢・大空へ」とタイトルが付いています。そこには以下のように記されています。

大空は夢広がる世界
宇宙未来へと限りなく続く
明るく平和な未来は
市民一人ひとりの願い
母から子へそして未来へ
引き継いでほしい
未来を背負って行く子供達の
メッセージとして
母と子の夢 大空へ

親子が平和に暮らせる、そんな当たり前のことが今失われつつあります。親を亡くして改めて思う感謝の気持ち、子を持って知る親のありがたさなどいろいろな場面で気づく想いを大切にしていきたい。そして今を生きる子どもたちに平和の尊さを伝えていかなければいけない、そんなことを考えながら母子像を見ていました。ところで、母子像はよく見かけますが父子像は何処に…ご存知の方教えてください。(T.M.)



モニュメントの製作・望月直登 谷本二郎



ただ今、大和市民活動センターの Web-Site を改装中

「もっと見やすく、すぐわかる」をキーワードに現在広報部会を中心に「やまとの力社」と制作の検討を重ねています。6月中旬には新 Web-Site での運用を開始する予定です。例えば[HOME]のページは右のようになります。



何が起るか... おたのしみ
今年もやります
カッコーフェスタ 2008

みんなでまつりを盛り上げよう。
“あっ”と驚く企画をみんなで
楽しみながら考える

ここに来るときっといいことがある
まちがいない(^)v

盛り上げ隊募集中



カッコーフェスタのシンボル
カッコちゃん

ここ数年、夏のように暑い5月が当たり前のようになっていますが、今年はまだ暑くならず、爽やかな陽気の日が続いています(寒い日もありましたね)。久しぶりに5月らしい5月が戻ってきたようで嬉しいです。温暖化の影響が大変な問題となっていますが、これからも四季が感じられる日本であってほしいですね。(中山みゆき)

薫風さわやかな五月も立夏がすぎ、各センターでは、夏のイベント、さらには11月のフェスタの企画、準備などで益々活気づいてくる時期が来ました。

当センターも同様、スタッフは勿論、登録団体の会員の皆様とともに、それに向けての企画、実行委員会設立で忙しくなる今日この頃です。(松村襄)

大和市民は市民が支える。市民は生活の中で仲間を作る。集団はそれぞれの意図を持って行動する。市民活動センターは、それら集団の活動拠点であり有意義な交流を促す。新たな集合体ができて良いのでは... (浅見正明)

最近、大和駅前時々来るセラピー犬たちのファンです。フワフワした毛のかたまりにこころ癒されています。センター勤務の日のちょっとした楽しみになっています。(山田裕子)

熱血編集後記



スタッフは五月病に
なってませんよ~

運勢では今年が飛躍の年だと出ていました。センターでの経験が血となり肉となっていくます。(関根孝子)

FMやまと「やまとっこ みつけた」に出演のグループの皆と話していると、人と人との出会いは、どんな人と、どんな場所で出会ったかではなく、出会いそのものが尊いということが、よくわかります。出会いによって、市民活動や、ボランティア活動に足を踏み入れ、元気を貰った様子を皆さん生き生きと話してくれています。(櫻井貞代)

鶴の一声 鶴のワンヴォイス。泣き面に蜂 泣き面にピー。これはルー語。「拝啓 の候 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます 平素は一方ならぬご厚情を賜り心から御礼申し上げます」これ、使い古された月並み語。つい遣って平気であることあり。生きいきとしたコミュニケーションの「市民語」とは？「あの手 この手」をもっと市民語でつくりたい。(小杉皓男)

サポーターとしての“思い”はそれなりに...ここに寄るとホッとすることがあります。ホッとしたい為に足が向くこともあります。疲れた時に“赤提灯”の暖簾をくぐる感じのような...あっ！「真面目にやって下さい！」とまた言われてしまった。(望月則男)

毎日のように乗っている電車の線路わきにたくさんの花が咲いているのを、今朝、発見。今まで何で見ていなかったのか。目線が違っていただと、気がついた。市民活動している団体で目立たない活動に目がいってないのではないかと、自問自答する。地味な活動に光を当てたいと思っています。(石川美恵子)